

枚方市教育委員会 協議会 資料

案 件

- 1 「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」における後期プランについて
- 2 新しい学校づくりに向けた取り組みについて
- 3 今後の中学校給食について

○開催日 令和3年（2021年）8月24日
○開催場所 輝きプラザきらら3階 教育委員会室

「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」における 後期プランについて

子ども未来部 子ども青少年政策課

総合教育部 教育政策課

1. 政策等の背景・目的及び効果

本市では、喫緊の課題である待機児童対策など、子育て施策を推進するとともに、今後の保育需要の減少時期も見据えた公立施設のあり方を示すため、幼保連携の考え方のもと、平成30年11月に「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」（以下、「プラン」といいます）を作成し、現在、プランの前期（令和元年度～令和5年度）の取り組みを推進しているところです。

今回、プランの後期（令和6年度～令和10年度）の取り組みとして位置付けた内容を、具体的に、かつ、可能な限り早期に示すため、後期プランの策定に向けて取り組むものです。

2. 内容

現時点において後期プランでお示しすることとしている内容については、以下のとおりです。

(1) 後期プランの基本的な考え方

(2) 就学前児童等を取り巻く状況

- ・ 就学前児童の現状と課題、今後の保育需要など
- ・ 公立施設の現状と課題

(3) プランの前期での取り組みと検証

(4) 今後の公立施設が担うべき役割

- ・ これまでプランで示してきた公立施設の担うべき役割の整理
- ・ 今後、求められる役割の検討、明確化

(5) 後期プランで推進する取り組み

- ・プランの前期から引き続き実施する取り組みの推進
- ・公立施設の適正な施設数や配置場所に関する方針の明確化

3. 附属機関への諮問・答申及び市民からの意見聴取

社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会に諮問し、答申をいただくとともに、パブリックコメントや市民説明会などを実施し、広く意見を聴取します。

4. 実施時期（予定）

令和3年9月	教育子育て委員協議会にて本案件について説明
10月	社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会に諮問
令和4年5月	教育委員会協議会にて後期プラン（素案）について説明
	教育子育て委員協議会にて後期プラン（素案）について説明

6 月	社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会から答申 パブリックコメント、市民説明会の実施
8 月	教育委員会協議会にて後期プラン（最終案）について説明 教育子育て委員協議会にて後期プラン（最終案）について説明
9 月	後期プランの策定

5. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち

第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画

施策目標3 子どもの生きる力を育む環境の整備

6. 関係法令・条例等

子ども・子育て支援法、児童福祉法、学校教育法

7. 事業費・財源及びコスト

《令和3年度事業費》

399千円

(内訳)

社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会に係る委員報酬

399千円（9,500円／人×14人×3回）

《財源》

一般財源

新しい学校づくりに向けた取り組みについて

総合教育部 新しい学校推進室

1. 政策等の背景・目的及び効果

高陵小学校、中宮北小学校の学校統合に際し、「令和2年度枚方市学校規模等適正化実施プラン【高陵小学校と中宮北小学校】」（以下、「プラン」という。）を令和3年3月に教育委員会定例会において策定しました。

同年4月から保護者、地域、学校及び教育委員会等で構成する「枚方市新しい学校づくり協議会」（以下、「協議会」という。）を設置し、新しい学校づくりに向けた諸課題の整理や取り組みに関する協議を行なっています。今後、同プランに基づき、令和4年4月に統合、令和8年度に高陵小学校敷地での新校舎の開校を予定しています。

今回は、統合に向けての取り組み内容と新しい学校名の選定経過についてご報告するものです。

2. 内容

(1) 「高陵小学校と中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて」の取り組み

「高陵小学校と中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて」は、令和3年6月28日の教育委員会定例会にて策定した、本市の学校づくりの指針となる「枚方市のめざす学校像」に基づき、現在、協議会や有識者等のご意見を聞きながら作成を進めています。

(2) 「枚方市新しい学校づくり協議会」の取り組み

令和3年4月3日の協議会発足以降、通学路、新しい学校名等について、現在まで5回の協議会を実施しています。引き続き、より多くの保護者や地域住民からご意見をいただくためワーキングチームを設定するなど、検討を進めていきます。

① P T Aワーキングチーム

両校 P T A の統合に向け、P T A 規約の整理、年間事業の調整を行っています。

② 通学路ワーキングチーム

危険個所の確認等を行い、学校と調整しながら安全な通学路の設定に取り組みます。

（３）新しい学校名の選定について

令和４年４月の統合に向け、両校区の児童や保護者をはじめ、地域住民や教職員などから新しい学校名を募集し、寄せられた学校名（案）について、協議会で候補名を絞ったうえ、高陵小学校、中宮北小学校の両児童による投票を行いました。

新しい学校名（案）については、協議会での協議経過や児童の投票結果を踏まえ、市で最終選定を行ったところです。学校名及び留守家庭児童会室名については、条例で規定しているため、９月定例会にて関係条例の一部改正議案を提出します。

資料１・・・【新しい学校名（案）の選定について】

（４）新しい学校の校歌について

令和４年４月の統合後の新しい学校の校歌については、地域の歴史、両校の伝統や校風を受け継いだ内容の校歌とすることとし、歌詞については新しい学校名決定後、公募を行います。

資料２・・・【新しい学校の校歌の公募について（案）】

（５）中宮北小学校の校舎増設（仮設校舎）について

現在、中宮北小学校の敷地内に増設する校舎の設計を進めており、令和３年10月下旬から工事を開始し、令和４年３月の完成予定です。

資料３・・・【中宮北小学校配置図案】

３．スケジュール（予定）

- | | |
|--------|---|
| 令和３年８月 | ・ 有識者による「高陵小学校と中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて（案）」の意見聴取 |
| ９月 | ・ 教育子育て委員協議会に報告
・ 定例月議会「枚方市立小学校及び中学校設置条例」及び「枚方市立留守家庭児童会室条例」の一部改正案を提出 |
| １０月 | ・ 新しい学校の校歌（歌詞）を公募
・ 中宮北小学校において仮設校舎建設工事開始 |
| １１月以降 | ・ 適宜、教育子育て委員協議会に取り組み状況を報告 |
| 令和４年４月 | ・ 統合校開校（中宮北小学校に仮設校舎を増設して学校運営） |
| 令和８年度 | ・ 新校舎完成、移転（高陵小学校敷地に建設） |

4. 総合計画等における根拠・位置付け

- ・総合計画

基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち

- ・枚方市教育大綱

- ・枚方市教育振興計画

- ・枚方市のめざす学校像

5. 関係法令・条例等

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

学校教育法施行規則

義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

枚方市立小学校及び中学校設置条例

枚方市立留守家庭児童会室条例

6. 事業費・財源及びコスト（参考）

統合までの諸費用関係

令和3年度予算 事業経費（総合教育部新しい学校推進室）

校歌・校章作成委託料 446千円（一般財源）

（当初予算で計上済み）

学校規模等適正化推進事業経費（総合教育部新しい学校推進室）

裏門改修工事費、備品等移転費用等 13,718千円（一般財源）

（9月補正予算で計上予定）

仮設校舎関係

令和4年度～7年度予算 学校規模等適正化推進事業経費（都市整備部施設整備室）

債務負担行為限度額 152,792千円（一般財源）

新校舎設計関係

令和3年度予算 学校規模等適正化推進事業経費（都市整備部施設整備室）

校舎解体設計等 69,977千円（一般財源）

（当初予算で計上済み）

新校舎の設計委託については、12月補正予算で計上予定

(1) これまでの経過

公募（6月1日（火）～30日（水））

新しい学校推進室で集計・票数順にまとめた一覧表を作成し、枚方市新
しい学校づくり協議会各委員へ送付（7月6日（火））

協議会各委員の学校名（案）選定期間（7月6日（火）～13日（火））

- 各委員の中で、応募された学校名（案）の中から一番よいと思う案を理由も含めて選定
- 応募基準である「子どもたちの健やかな成長、地域への発展への願いが込められた名前」「誤
読がなく（わかりやすく）、親しまれる名前」の観点から選定

教育委員会へ新しい学校名（案）の回答（7月13日（火）まで）

候補（案）の作成

(Ⅰ) 応募された学校名（案）の中から、
最も名前が多かった学校名 3 つ程度

順位	1	2	3
名前	禁野台	禁野	天の川

(Ⅱ) 各委員が選定した学校名

委員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
名前	禁野台	きんや台	禁野台	禁野台	禁野台	禁野台	天の川	あおぞら	桜風台	ふたば

第 4 回協議会（7月17日（土））での確認

候補（案）に示された学校名について協議を行い、児童が投票する一次候補を選定

一次候補の選定

候補名	あおぞら	天の川	桜風台	禁野	きんや台	禁野台	ふたば
-----	------	-----	-----	----	------	-----	-----

高陵小・中宮北小の児童による投票（7月19日（月）～20日（火））

8 月 3 日（火）の教育委員会において、経過及び選定結果について、協議・確認

(2)一次候補と児童の投票結果について

枚方市新しい学校づくり協議会で選定された一次候補から、児童の投票で学校名（★）が選ばれました。

	新しい学校名(漢字)	新しい学校名(よみがな)
★	あおぞら	あおぞら
★	天の川	あまのがわ
	桜風台	おうふうだい
★	禁野	きんや
	きんや台	きんやだい
	禁野台	きんやだい
	ふたば	ふたば

(注) なお、学校名については、あいうえお順で記載しています。

参考

・「あおぞら」については、「あおぞら教室」「あおぞらスクール」など、子どもの「育ち」を支援する団体が運営する「フリースクール」のような例が複数見受けられる。

・「天の川」については、交野市立第四中学校区(小中一貫教育)が「天の川学園」という愛称である。

・「禁野」については、9世紀から現在まで受け継がれている歴史ある地名であり、両校の校歌には「禁野台」の歌詞がある。

新しい学校の校歌の公募について（案）

枚方市教育委員会では、児童、地域、学校とで共に創り上げていく想いを取り入れ、永く親しまれる校歌にしたいと考えており、新しい学校の「校歌の歌詞」を募集することとしました。

○応募資格

- ・市内市外や年齢を問わず、どなたでも応募が可

○応募期間

- ・学校名決定後に約 1 か月程度

○応募内容

- ・新しい小学校の「校歌の歌詞」

○応募基準

- ・歌詞には新しい小学校名を入れること
- ・歌詞を 3 番まで作成すること
- ・難しい漢字や、読み方が複数ある漢字にはふりがなをつけること
- ・校区の自然・歴史・文化などが感じられるもの

○注意事項

- ・1 人につき 1 回の応募
- ・その他、著作権に関する注意事項など

○応募方法

- ・応募用紙に必要事項記入後、事務局へ送付（送信）

○校歌の歌詞選定方法

- ・枚方市新しい学校づくり協議会及び作曲者（現在調整中）の意見を踏まえ、教育委員会が決定します。

【高陵小学校】

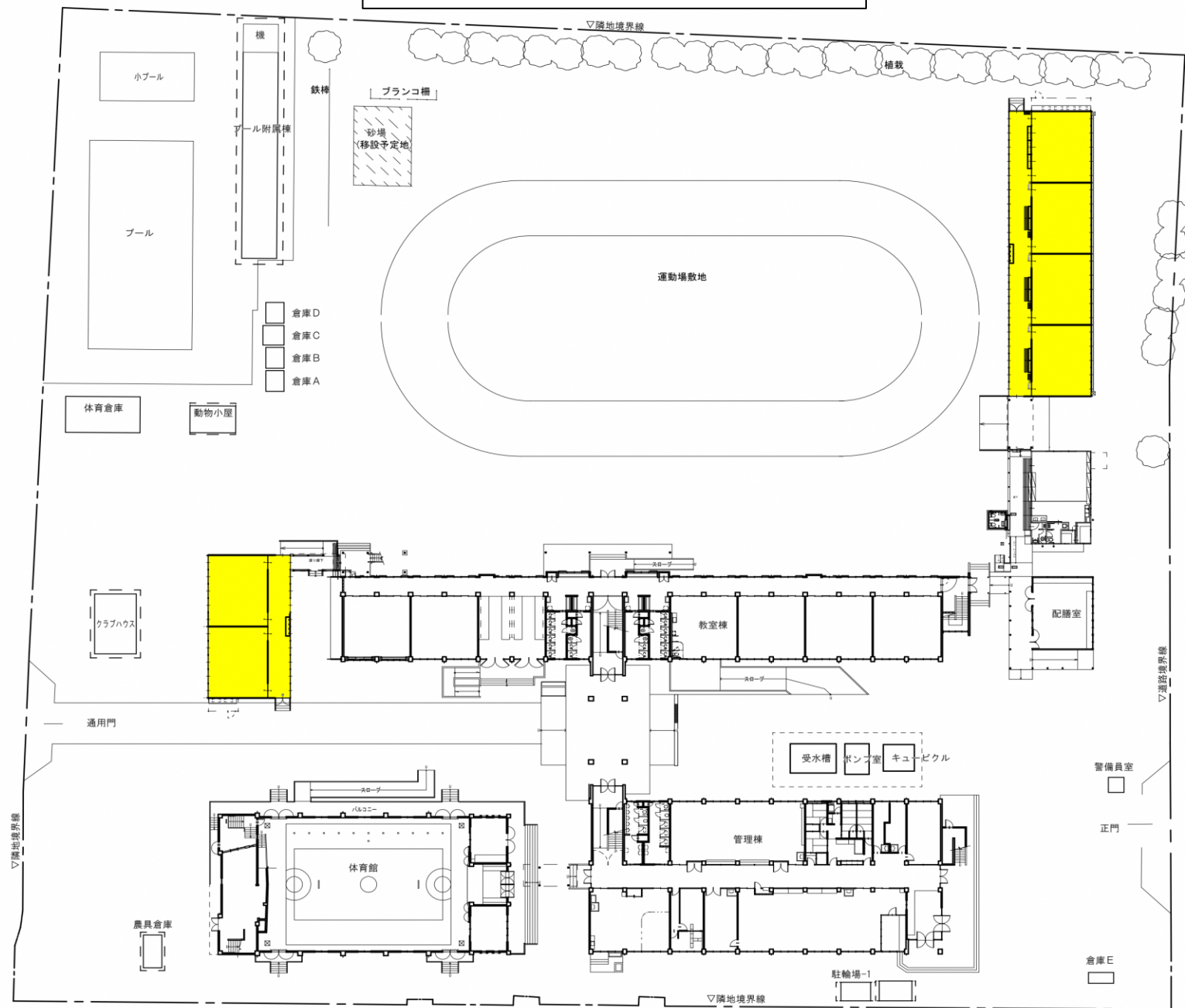
- 一． 風さわやかな 禁野台
歴史を秘める 丘の松
強い子どもは 是つらつと
心とからだ きたえゆく
われらのわれらの
高陵小学校
- 二． 流れはるかな 大淀の
豊かなめぐみに うるおいて
助け合う子の 胸深く
平和の願い 育ちゆく
われらのわれらの
高陵小学校
- 三． 大空をゆく 白い雲
明るいあすへの 思いのせ
にこやかな子の 瞳すみ
理想も高く はげみゆく
われらのわれらの
高陵小学校

【中宮北小学校】

- 一． 淀の流れを近く見るこの地中宮の禁野台
智慧と力を出し合つて学ぶ子どもの声高く
正しく伸びようみんなと共に
- 二． 仰ぎ見る空雲白く希望に胸をふくらせて
助け合いつつ育ちゆくやさしい子どもの声高く
明るく伸びようみんなと共に
- 三． 光り明るい学び舎の広い大地を踏みしめて
心とからだをたくましくきたえる子どもの声高く
強く伸びようみんなと共に
われらわれらわれらの
中宮北小学校

中宮北小学校配置図案

資料 3



凡例

■ 仮設校舎を示す

今後の中学校給食について

総合教育部 おいしい給食課

1. 施策等の背景・目的及び効果

本市の中学校給食については、平成 28 年 4 月から選択制のランチボックス方式で実施し、温かい食事は温かいままに、冷たい食事は冷たいままに提供できるなど、これまで一定の評価を受けてきました。一方で、個々の食事の量の調整が難しいなどといった課題があるほか、調理委託等におけるランチボックス方式での受託者が限られてきており、今後、委託料等の経費が高騰することなどが懸念されます。

加えて、大阪府内でも、これまでの給食提供方法に課題があるとして、提供方法を見直す自治体が相次いでおり、学校給食事業を取り巻く社会環境が大きく変化をみせている状況です。

こうしたことから、今後の中学校給食の持続可能なあり方、生徒にとって望ましい

給食のあり方をあらためて検討する必要がある、その検討を進めるにあたり、多方面から様々な意見を聴くための会議体を設置するものです。

2. 内容

有識者やP T A、学校関係者などで構成する「(仮称) 枚方市中学校給食あり方懇話会」を設置し、それぞれの分野から意見をいただきます。

《主な検討内容（案）》

- ① 現行の給食提供にかかる課題と対応
- ② 生徒にとって望ましい給食のあり方
- ③ 費用対効果を踏まえた持続可能な給食提供方法 など

《委員構成（案）》

- ① 食育や栄養学に関する学識経験者
- ② 枚方市P T A協議会（小・中学校の保護者）
- ③ 小・中学校の校長
- ④ 小・中学校の栄養教諭

3. 今後の予定

令和3年（2021年）9月 教育子育て委員協議会にて本案件について説明

市議会9月定例会月議会（補正予算計上（予定））

「（仮称）枚方市中学校給食あり方懇話会」設置

※令和3年度中に5～6回開催（予定）

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち

5. 関係法令・条例等

学校給食法

6. 事業費・財源及びコスト

《事業費》 513 千円（報償費） 令和3年度 9月補正予算計上（予定）

《財源》 一般財源 513 千円

（9500 円/人×9 人×6 回＝513,000 円）

7. その他

添付資料 資料1 「中学校給食 各市の動向」(令和3年7月調査)

中学校給食 各市の動向（令和3年7月調査）

資料 1

実施手法に関する検討・会議体等の設置状況

●大阪府各市(北河内を除く)

	変更前	変更後	変更時期	変更理由・検討の方向性等	方針・計画等	会議体等
高槻市	選択制 ランチボックス	全員 食缶	H26 年度	・ 懇話会等の中学校完全給食の意見	○	設置
東大阪市	未実施	全員 食缶	H31 年度	・ 国・府の動向により実施決定	—	設置
大阪市	選択制 ランチボックス	全員 食缶	R 元年度	・ アンケート調査から保護者の多数が全員給食を希望	—	設置
池田市	全員 食缶+ランチボックス	全員 食缶	R2 年度	・ H26 年実施～センター調理に切り換え	—	—
豊中市	選択制 ランチボックス	全員 食缶+ランチボックス	R4年度 2学期	・ アンケート調査やパブリックコメントから多数の全員給食を希望する意見	○ (R2年12月)	予定なし
茨木市	選択制 ランチボックス	全員 食缶	R7年度	・ 全員給食を希望する多くの意見	○ (R3年3月)	設置
堺市	選択制 ランチボックス	全員 食缶	R7年度	・ 食育の観点から全員給食が望ましいといった方針	○ (R2年10月)	設置

	変更前	変更後	変更時期	変更理由・検討の方向性等	方針・計画等	会議体等
摂津市	選択制 ランチボックス	全員 食 缶	未定	・ アンケートで保護者の約7割が全員給食希望	○	予定なし
吹田市	選択制 ランチボックス	R3 年度 検討	未定	・ 近隣市の動向を注視	—	設置
八尾市	選択制 ランチボックス	検討予定	未定	・ 全員給食の方向で検討予定	—	未定
河内長野市	選択制 ランチボックス	R3 年度 検討	未定	・ 保護者・議会から全員給食を求める意見	—	設置予定
富田林市	選択制 カフェテリア		—	・ 変更予定なし	—	—

●北河内各市

	変更前	変更後	変更時期	変更理由・検討の方向性等	方針・計画等	会議体等
大東市	全員 ランチボックス	検討予定	未定	・ 提供方法を見直す予定	—	実施方法検討コンサルティングのプロポーザル実施
守口市	選択制 カフェテリア		—	・ 変更予定なし。	—	—
門真市	全員 食 缶		—	・ 現行のまま継続	—	—

	変更前	変更後	変更時期	変更理由・検討の方向性等	方針・計画等	会議体等
四條畷市	全員 食缶		—	・ 現行のまま継続	—	—
交野市	全員 食缶		—	・ 現行のまま継続	—	—
寝屋川市	全員 ランチボックス	全員 食缶	R5 年4月	・ センター等整備して提供方法を変更予定	○ (R2年11月)	予定なし

●その他(他府県各市)

	変更前	変更後	変更時期	変更理由・検討の方向性等	方針・計画等	会議体等
神戸市	選択制 ランチボックス	全員 食缶	未定	・ アンケート調査から温かい給食を希望する多くの意見	○(予定)	設置
尼崎市	選択制 ランチボックス	全員 食缶	R4年1月	・ 保護者を中心に全員給食を望む意見	○ (H30年11月)	設置
宇治市	昼食提供事業	全員 食缶	R5年度	・ 中学生にとって望ましい給食の実施を検討中	○ (R2年3月)	設置
秦野市 (神奈川県)	牛乳給食 ＋ 昼食提供事業	全員 食缶	R3年12月	・ 子育て支援の観点から中学校給食の実現について検討を開始	○ (R3年12月)	設置